

∞ 目標達成に向けた取組み

柱1 プラスチック製品の使用抑制と環境への流出の削減



○方向性

- ・新たなプラスチックごみを発生させないライフスタイルへの変革
- ・海洋プラスチックごみの削減に向けた対策・調査研究
- ・まち美化の推進
- ・環境教育・啓発の推進

取組み例

●エコバッグやマイボトルの利用の促進

レジ袋削減に向けた啓発活動やエコバッグの普及、マイボトルの利用啓発や給水スポットの普及に取り組みます。



●プラスチックごみの実態把握

より詳しい実態が把握できるよう、海域及び陸域において、プラスチックごみやマイクロプラスチック等の調査を実施します。



○その他の取組み

- ・住民が参加しやすい清掃活動の実施
- ・河川・海面清掃の実施 など

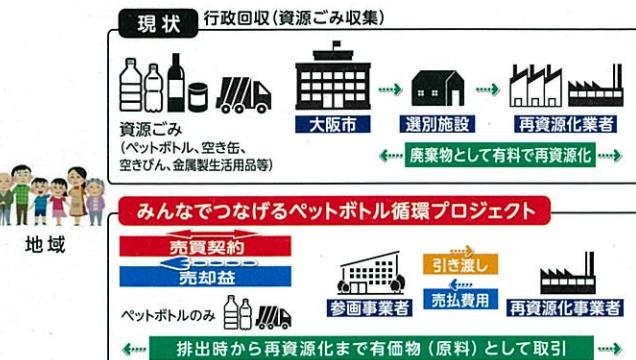
柱2 プラスチックの資源循環に向けた地域活性化のシステム推進



○方向性

- ・プラスチック(ペットボトル)の資源循環の促進
- ・新たなペットボトル回収を通じた地域活動の活性化の促進

みんなでつなげるペットボトル循環プロジェクト



※ペットボトルは、古紙・衣類等と異なり、廃棄物処理法上における専ら再生利用の目的となる廃棄物とならず廃棄物に分類されますが、この取組みでは、事業者が経済合理性に基づいた適正な対価をもって、地域コミュニティと有償で売買契約を締結することを条件としていることから、ペットボトルを廃棄物ではなく「有価物」として取り扱います。

大阪市は、全国に先駆けて、この考え方を導入して取組んでいます。

現在資源ごみとして行政が回収している家庭から排出されるペットボトルについて、地域コミュニティ(地域活動協議会等)と事業者が連携・協働して回収することにより、さらなるごみの減量・リサイクルを推進します。

また、分別を徹底し、質の高いペットボトルを回収することにより、プラスチック資源循環を推進します。

さらに、コミュニティビジネスの要素を取り入れることで、自律的な地域運営へ寄与し、活力ある地域づくりに貢献します。大阪市では、この新たなペットボトル回収・リサイクルシステムを「みんなでつなげるペットボトル循環プロジェクト」としてモデル実施するとともに、大阪府は、その成果や優良事例を府域の他市町村に情報共有し、水平展開をめざします。

柱3 海洋プラスチックごみ発生抑制のための国際協力



○方向性

- ・行政、企業、各種住民団体(NPO・NGOを含む)による先進的取組みの海外への展開

取組み例

●UNEP-IETCと連携した国際会議等での取組みの発信

大阪府・大阪市や企業等による先進的な取組みを発信するとともに、その海外展開を図り、途上国の海洋プラスチックごみ問題の解決に貢献します。



プラスチックごみ問題に関する国連環境計画シンポジウム

●都市間協力の推進

企業の持つ先進的な技術等を活用しながら、アジア諸都市等におけるプラスチックごみ問題などの環境問題の解決に向けた取組みを支援します。



○その他の取組み

- ・海洋プラスチックごみの削減など大阪の先進的な取組みを発信するビジュアルツールの制作
- ・Team OSAKAネットワークによる海外展開 など

柱4 良好な水環境の創造



○方向性

- ・水質の保全と生物多様性を守るための水環境の創造
- ・水資源の有効利用と快適な水辺空間の保全・創造
- ・水辺空間の利活用とございの創出

取組み例

●河川に生息する魚類調査

大阪市内河川に生息する魚類を調査することにより、大阪市の水環境についてよりわかりやすく発信します。



大和川で採れた生き物

●帯水層蓄熱利用の促進

大阪市の地下にある豊かな帯水層を利用し、未利用な地中熱(帯水層蓄熱)の活用による省エネルギーなどに取り組みます。



●楽しい水辺教室による水環境やプラスチックごみ問題の啓発

水辺イベントにおいて、大阪市の水環境やプラスチックごみ問題について啓発します。



楽しい水辺教室

●その他の取組み

- ・水質保全に向けた、各種協議会との広域連携
- ・生物多様性に関する情報発信
- ・漁協と連携した豊かな水産資源と海洋プラスチックごみ問題の啓発 など

柱5 あらゆるステークホルダーとの連携



の達成に寄与

○方向性

- ・あらゆるステークホルダーとのパートナーシップの構築
- ・広域連携、国際協力・協調

○目標を達成するためのパートナーシップ構築の取組み

- ・住民やNPO、事業者等と連携したプラスチックごみ減量の取組みの推進
- ・国内における広域連携
- ・官民連携による海外展開 など